



小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	姫路医療生活協同組合	代表者	荻野 俊夫	法人・事業所の特徴	「一人ひとりに寄り添う、地域に寄り添う」を理念に、ご利用者様には住み慣れた地域で気持ち良く過ごしていただけるよう、通い、泊り、訪問を柔軟に組み合わせたサービスを提供しています。また、平均的に介護度が高く、重度化・医療依存度が高くてもしっかり、住み慣れた地域で最期まで過ごして頂けるようご支援させて頂いております。
事業所名	小規模多機能ホーム さろお	管理者	宮本 綾子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	3人	人	人	1人	人	2人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	なし	なし	なし	なし
B. 事業所のしつらえ・環境	外観をきれいに保つよう普段から意識し清掃を心掛ける	併設デイサービススタッフと分担し外周清掃と、草刈り時期にはスタッフ配置を増やして対応しています。	なし	なし
C. 事業所と地域のかかわり	積極的に外出し、地域住民とのかかわりを図る。	コロナ禍で外出の自粛、地域イベントの中止等で大きく情勢が変わってしまいましたが、歳徳神社・横の公園、地域の買い物には少人数で外出する機会を設けた。	コロナ禍で積極的な外出ができなかった。それでも地域での買い物や神社へ散歩等ができた。	地域のイベント等情報収集に努め、感染対策をとり少人数で外出の機会を設ける。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	誰が読んでもわかりやすい小規模のチラシ作成、夏祭りの時などに配布する。	チラシの作成について現在進行中でできればご利用者様・地域・近隣医院へ配布予定。	コロナ禍で積極的な外出が思うようにできなかった。コロナ対策をしっかりとした上で何かできないか。	事業所ニュースを発行（毎月）し、ご利用者様・ご家族様・地域への発信を行う。
E. 運営推進会議を活かした取組み	人員配置を工夫し、運営推進会議への参加を呼び掛ける。	人員配置は厳しい状態が続いているが、ご家族様・職員の参加ができるよう声かけを行っています。	職員の運営推進会議への参加は人員配置のこともありなかなか参加できていない。	職員に順番に運営推進会議に参加できるよう計画し実行する。
F. 事業所の防災・災害対策	火災以外にも水害・地震を想定した避難訓練を行う。	火災・地震（夜間想定）シミュレーションを実際に行い、普段の訓練がいかに大切かをスタッフ全員共有できた。	防災訓練時に地域の方の参加がない。地域の自治会・消防団との連携を深める方がよいのでは？	地域の方の災害訓練の参加を検討し、実際の時を想定し、災害時の連携について連絡を取り合う方法や手段を深めていく。